



## 9月の鳥獣被害対策



福島県農林水産部農業振興課

9月以降は、水稻や野菜に加え、新たにソバやリンゴなどの被害が増加してきます。昨年、被害が確認されているほ場では、今年も被害に遭う可能性があります。あらかじめ、ほ場周辺のやぶの刈り払いや、侵入防止柵の設置など、早めの対応を心がけましょう。

なお、これらの対策を実施しても被害がなくなる場合は、必要に応じて加害個体を捕獲しましょう。

### 1 ソバの被害対策

ソバは花盛りを過ぎたところから収穫まで、イノシシ、クマなどが加害します。

被害がみられたら、まず、ほ場周辺のやぶを刈払うなどの環境整備を行うとともに、周囲に侵入防止柵を設置しましょう。

侵入防止柵は、電気さくをイノシシでは地面から20cm間隔で2段（各段ともプラス通電）、クマでは地面から20cm間隔で3段（各段ともプラス通電）設置しましょう。

### 2 リンゴの被害対策

間もなく収穫が本格化するリンゴは、晩生種の収穫が終わる12月上旬頃まで、特にサル、イノシシ、クマなどに対する注意が必要です。

被害がみられたら、まず、ほ場周辺のやぶを刈払うなどの環境整備を行うとともに、周囲に侵入防止柵を設置しましょう。

ほ場周囲の侵入防止柵は、次により設置しましょう。

#### (1) サル

電気さくを、地面から15cmに1段、次いで20cm間隔で7段、計8段のワイヤーを張ることが基本となります（1段目のワイヤー設置位置を地面から15cmに設置するのは、地際から幼獣の侵入を防ぐためです。また、各ワイヤーの通電は地面から3、5、7段目がマイナス、そのほかはプラス通電とします。また、サル用のネット型の電気さくも市販されています。価格はやや高くなりますが、設置や片付けはワイヤー型より簡便です。）。

## (2) イノシシ

電気さくを、地面から20cm間隔で2段（各段ともプラス通電）設置しましょう。  
イノシシは、1m程度の高さまで実を直接食べたり枝をくわえて折るなどします。  
枝が折られると翌年の生産にも影響することから早めの対策が必要です。

## (3) クマ

電気さくを、地面から20cm間隔で3段（各段ともプラス通電）設置しましょう。  
また、ツキノワグマが生息する地域では、人身被害を回避するため早朝や夕暮れ時に林縁部の畑で作業することは避けましょう。

なお、降雨や霧の発生時は、明るい時間帯でも出没する可能性が高まります。クマは、夜行性ではありません。

## (4) 複数の獣が加害している場合

最寄りの農林事務所農業振興普及部・農業普及所にお問合わせください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL024(521)7339

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

○ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>